



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6741-5742

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	58,670	△13.0	△2,369	—	△2,729	—	△663	—
2020年3月期第3四半期	67,405	6.3	357	—	△310	—	815	—

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,135百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△14.96	—
2020年3月期第3四半期	18.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	71,387	24,645	31.0
2020年3月期	62,154	27,478	40.3

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 22,099百万円 2020年3月期 25,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	△10.7	△2,200	—	△2,650	—	△1,150	—	△25.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) Pixelogic Holdings, LLC 、 除外 1 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	44,741,467 株	2020年3月期	44,741,467 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	353,231 株	2020年3月期	468,341 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	44,338,006 株	2020年3月期3Q	44,087,258 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

新型コロナウイルス感染症に対する政府の経済政策、経済活動の再開などにより、10月以降の国内事業環境は徐々に持ち直しの兆しがあり、当社グループの業績も改善傾向が見られましたが、足元では更なる感染拡大の傾向が見られ、事業環境はまだ厳しい状況が続くと予測しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は586億70百万円(前年同四半期比13.0%減)、営業損失は23億69百万円(前年同四半期は営業利益3億57百万円)、経常損失は27億29百万円(前年同四半期は経常損失3億10百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別利益に段階取得に係る差益として20億91百万円を計上したことにより、6億63百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億15百万円)となりました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より「映像制作サービス事業」並びに「メディア・ローカライゼーション事業」を統合し、業績報告のセグメント区分を従来の4区分から「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「映像システム事業」の3区分に変更いたしました。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

1)映像コンテンツ事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は138億88百万円(前年同四半期比30.7%減)、営業損失は5億62百万円(前年同四半期は営業損失2億3百万円)となりました。

TVCMなどの案件数は伸び悩み、TVアニメシリーズの制作本数減少や納品・放送スケジュール変更等は引き続き発生しておりますが、10月以降には公開延期となっていた実写、アニメの劇場映画作品の公開や、OTTでドラマが配信を開始したこと等により売上は回復基調となりました。また、音楽ライブ等の収録業務については、中止や延期はあったものの、無観客ライブへの配信が主流となり案件は増加傾向にあります。

以上の結果、現状では業績の改善傾向が見られましたが、第3四半期連結累計期間における映像コンテンツ事業全体では減収減益となりました。

2)映像制作サービス事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は327億43百万円(前年同四半期比8.2%減)、営業損失は23億8百万円(前年同四半期は営業損失5億50百万円)となりました。

国内の映像技術サービス分野^{※1}においては、TV番組向けのポストプロダクションサービスは継続して受注を確保し、TVCM向け及びアニメのポストプロダクションサービスにおいても受注の回復傾向が見られました。デジタルシネマは新作案件の減少により受注が伸び悩む一方で、OTT案件の増加によりエンコード等の受注が堅調に推移しました。撮影・配信、アーカイブサービスはスポーツ再開やライブ収録の配信へのシフト等により受注が増加しました。

海外の映像技術サービス分野においては、ダビングスタジオが徐々に再開し、足元では受注が回復基調にあるものの、欧米において厳しい状況が継続しています。

人材サービス分野においては、依然として企業の新規採用活動は抑制傾向にあり、人材派遣・紹介事業については需要が前年を下回りました。一方でデジタルコンテンツ事業においては、デバッグ事業の新規案件が増加し、ゲームの3DCG制作も堅調に推移しました。

以上の結果、現状では業績の改善傾向が見られましたが、第3四半期連結累計期間における映像制作サービス事業全体で減収減益となりました。

※1：映像技術サービス分野：ポストプロダクションサービス、E2Eサービス^{※2}、撮影、アーカイブサービス等の映像制作技術に関連するサービス全般を言う。

※2：E2Eサービス：End to End。劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般を言い、主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューション^{※3}を統合したサービスを言う。

※3：ディストリビューション：各メディア(劇場、VODやDVD/BDなど)へ映像コンテンツを配信するため、完成した作品の原版から、それぞれのメディア用にデータを作成、データチェック、納品の作業、及びその工程管理・素材管理を包括的に行うサービスを言う。

※海外の映像技術サービス分野の業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には2020年1月1日～2020年9月30日の実績を反映しております。

3)映像システム事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は129億97百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益は8億42百万円(前年同四半期比43.0%減)となりました。

映像システム分野では、CMオンライン送稿がマーケットニーズの拡大により送稿数が伸長し増収を確保したものの、放送局向け案件は一部案件減や縮小などがありました。

イメージング分野においては、ハイスピードカメラは依然として国内や欧米の販売苦戦が続くも、アジア地域では回復基調となっています。また、台湾・中国向け映像・画像処理LSIの販売は継続して堅調に推移しております。モバイルソリューション分野では、引き続きモバイルデータ通信の需要が拡大し、大幅な増収を達成いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の映像システム事業全体では増収となりましたが、大型案件の納品等があった前期と比較して減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億24百万円(0.6%)減少し、350億70百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて94億57百万円(35.2%)増加し、363億17百万円となりました。

これは主に、のれんが増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて92億32百万円(14.9%)増加し、713億87百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて65億84百万円(25.6%)増加し、323億47百万円となりました。

これは主に、未払法人税等、並びに支払手形及び買掛金が減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて54億80百万円(61.5%)増加し、143億94百万円となりました。

これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて120億65百万円(34.8%)増加し、467億41百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて28億32百万円(10.3%)減少し、246億45百万円となりました。

これは主に、資本剰余金及び利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(特別利益の計上について)

当社は、2020年8月7日付け「持分法適用関連会社の異動(連結子会社化)に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の持分法適用関連会社であったPixelogic Holdings, LLCの株式を追加取得し、同社及びその子会社4社を連結子会社化いたしました。これに伴い、段階取得に係る差益20億91百万円を特別利益に計上いたしました。

(業績への影響について)

当該特別利益の計上については、2020年10月30日に公表した2021年3月期連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,339,777	7,641,972
受取手形及び売掛金	16,609,098	15,631,902
たな卸資産	9,734,028	8,965,152
その他	1,665,660	2,931,255
貸倒引当金	△53,471	△100,157
流動資産合計	35,295,092	35,070,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,468,029	13,970,304
減価償却累計額	△9,929,756	△10,303,903
減損損失累計額	△194,813	△156,208
建物及び構築物(純額)	3,343,459	3,510,191
機械装置及び運搬具	10,302,545	9,147,759
減価償却累計額	△10,062,367	△8,934,613
減損損失累計額	△107,024	△104,469
機械装置及び運搬具(純額)	133,153	108,676
土地	1,705,819	1,705,819
リース資産	2,031,925	1,718,406
減価償却累計額	△1,245,209	△1,049,287
減損損失累計額	△50,742	△41,668
リース資産(純額)	735,973	627,449
建設仮勘定	341,285	219,148
その他	5,321,117	6,812,013
減価償却累計額	△3,742,931	△4,872,086
減損損失累計額	△14,547	△13,904
その他(純額)	1,563,637	1,926,021
有形固定資産合計	7,823,328	8,097,307
無形固定資産		
ソフトウェア	1,242,332	1,120,887
のれん	3,167,870	15,480,725
その他	4,085,856	3,849,219
無形固定資産合計	8,496,059	20,450,832
投資その他の資産		
投資有価証券	2,296,170	2,668,782
関係会社株式	2,691,296	1,066,611
長期貸付金	1,986,264	277,014
敷金及び保証金	1,466,390	1,649,235
繰延税金資産	1,852,835	1,850,202
その他	375,336	377,878
貸倒引当金	△128,070	△120,801
投資その他の資産合計	10,540,222	7,768,921
固定資産合計	26,859,610	36,317,062
資産合計	62,154,703	71,387,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,060,774	4,943,842
短期借入金	5,004,318	14,002,546
未払金	3,027,865	3,970,364
未払法人税等	1,504,588	138,612
前受金	4,939,345	4,437,674
賞与引当金	1,245,383	406,449
役員等報酬引当金	106,568	—
受注損失引当金	218,878	79,784
その他	3,654,716	4,367,837
流動負債合計	25,762,438	32,347,112
固定負債		
長期借入金	5,510,940	10,278,112
長期未払金	174,097	148,018
繰延税金負債	283,312	1,049,301
退職給付に係る負債	1,233,649	1,309,110
その他	1,711,796	1,609,827
固定負債合計	8,913,796	14,394,371
負債合計	34,676,235	46,741,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	14,871,552	12,562,840
利益剰余金	7,730,081	6,845,317
自己株式	△479,516	△361,659
株主資本合計	25,428,120	22,352,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,009	451,832
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△529,312	△685,670
退職給付に係る調整累計額	△1,082	△1,218
その他の包括利益累計額合計	△361,318	△252,989
新株予約権	11,484	11,484
非支配株主持分	2,400,180	2,534,706
純資産合計	27,478,467	24,645,702
負債純資産合計	62,154,703	71,387,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	67,405,791	58,670,351
売上原価	50,485,820	45,738,026
売上総利益	16,919,971	12,932,325
販売費及び一般管理費	16,562,348	15,302,107
営業利益又は営業損失(△)	357,622	△2,369,782
営業外収益		
受取利息	124,313	198,568
受取配当金	31,270	23,407
その他	123,372	142,896
営業外収益合計	278,956	364,872
営業外費用		
支払利息	255,916	227,305
持分法による投資損失	460,583	344,200
為替差損	91,580	48,944
その他	139,093	103,863
営業外費用合計	947,173	724,314
経常損失(△)	△310,595	△2,729,224
特別利益		
固定資産売却益	1,650,441	2,770
段階取得に係る差益	—	2,091,698
その他	37,813	122,042
特別利益合計	1,688,254	2,216,511
特別損失		
固定資産売却損	—	263
固定資産除却損	19,310	40,411
減損損失	—	75,525
投資有価証券売却損	13,650	—
その他	26,893	38,430
特別損失合計	59,854	154,631
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,317,804	△667,344
法人税等	1,001,906	502,486
四半期純利益又は四半期純損失(△)	315,898	△1,169,831
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△499,177	△506,432
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	815,076	△663,398

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	315,898	△1,169,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,768	264,180
繰延ヘッジ損益	1,613	—
為替換算調整勘定	△232,477	△229,996
退職給付に係る調整額	△2,642	△136
その他の包括利益合計	△173,737	34,046
四半期包括利益	142,160	△1,135,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,923	△555,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△561,763	△580,714

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2四半期連結会計期間において、連結子会社の株式を追加取得したことにより、資本剰余金が2,237,130千円減少しております。

また、2020年6月30日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式115,110株を処分したことにより、資本剰余金が71,582千円、自己株式が117,856千円減少しております。

これらの影響により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が12,562,840千円、自己株式が361,659千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	19,959,876	34,981,687	12,455,848	67,397,412	8,379	67,405,791
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	78,594	681,447	328,711	1,088,753	△1,088,753	—
計	20,038,471	35,663,134	12,784,560	68,486,166	△1,080,374	67,405,791
セグメント利益 又は損失(△)	△203,206	△550,237	1,478,415	724,972	△367,349	357,622

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△367,349千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,284,431千円及びセグメント間取引消去△1,651,781千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	13,828,736	32,150,368	12,678,822	58,657,927	12,423	58,670,351
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60,220	593,403	318,638	972,261	△972,261	—
計	13,888,956	32,743,772	12,997,460	59,630,189	△959,837	58,670,351
セグメント利益 又は損失(△)	△562,949	△2,308,059	842,133	△2,028,875	△340,907	△2,369,782

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,907千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,250,985千円及びセグメント間取引消去△1,591,892千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの変更等に関する事項

当社は従来「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「メディア・ローライゼーション事業」、「映像システム事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「映像制作サービス事業」並びに「メディア・ローライゼーション事業」を統合し、「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「映像システム事業」の3つの報告セグメントに変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったPixelogic Holdings, LLCの株式を追加取得し、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の「映像制作サービス事業」のセグメント資産が13,659,705千円増加しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「映像制作サービス事業」において、固定資産に係る減損損失75,525千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったPixelogic Holdings, LLCの株式を追加取得し、同社及びその子会社4社を連結の範囲に含めております。当該事象により、「映像制作サービス事業」において、のれんが12,777,550千円増加しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。